

# 平成 27 年度 第 1 回 エンデューロ委員会 議事録

## 【ダイジェスト版】

開催日：2015 年 4 月 16 日(木) 午前 10 時 30 分～午後 5 時

開催場所：東京・築地・MFJ 会議室(東京都中央区築地 3-11-6 築地スクエアビル 10F)

### 1. 前回議事録の確認

2014 年 11 月 12 日に開催された「平成 26 年度第 2 回エンデューロ委員会議事録」が承認された。

### 2. 前回委員会の継続審議と報告

前回エンデューロ委員会で継続審議となっていた事項についての再審議と MFJ からの報告について、以下検討された。

#### 1) 全日本ウイメンズクラスについて

全日本ウイメンズの難易度は全日本ナショナルクラス同等の設定で統一解釈(前回決定したコース設定のガイドラインを修正し、全日本ウイメンズは、ナショナル同等のレベルとする)とすべきかどうか？

#### 結論

2015 シーズンにおいて、全日本ウイメンズクラスのコースは、承認 B クラスと同様とする。(周回数は大会ごとに SR) 全日本ウイメンズクラスの方向性について、JEC と選手会で 2015 出場女性選手の意見を聞き、検討材料とする。

#### 2) タイヤ規制について

現状 FIM スタンダード規則がすべてのクラスで適用されているが、全日本上位クラスに限定したらどうか？との提案が前回委員会にてなされたが、現状通りとなった。なお、大会やクラスによって特別に MX タイヤの使用などが認められる場合は、これまで通り SR で公示し、車検時のチェック用として、2015 年シーズンからは、JEC プロモーション中西氏が情報収集し、「使用可能タイヤリスト」を作成、JEC サイトで選手向けに公示されていることが報告された。

#### 結論

2016 年からの導入を目標として、IA と IB は FIM スタンダード ED タイヤのみとし、ナショナルと併催承認クラスは、MX タイヤも使用可能とする規則を全日本シリーズ全戦適用として進めていく方針とする。

#### 3) 安全対策について

##### ①立入禁止サイン表示

会場の安全対策として、MFJ オンラインマガジン(<http://www.mfj.or.jp>)にて“立入禁止”を示すデザインデータ(PDF)が掲載されており、印刷して使用可能な状態である。雨天時に備え、ラミネートなどで加工することも考慮し、エンデューロ競技会でも活用するよう事務局より各主催者へ要望され、了承された。

##### ②JEC プロモーションへの安全対策支援

前回委員会で継続審議とされていた JEC シリーズの安全対策支援活動について、2015 年度 MFJ 全日本エンデューロシリーズ全戦の会場設営で使用する場合に限り、コーステープを MFJ から支援することが提案され、承認された。

#### 4) SNS による個人的な情報発信について (MFJ からのお知らせ)

インターネット上の交流を通じ、社会的ネットワークを構築するサービス、いわゆる“SNS”(FaceBook、Line、Twitter 等)について、MFJ 本部事務局より、以下の注意事項が説明された。

##### 大会主催者 宛

- ◆ 役務上知り得た情報(文字、画像、動画等)または、参加者や競技役員主催者の不利益になる情報は配信しない
- ◆ 事故や違反など、レース運営の内部情報や個人的見解を発信しない
- ◆ 個人情報に関わるような内容や著作権に関わるような情報を発信しない

##### MFJ 委員 宛

- ◆ 委員会の審議内容や正式公示前の情報、MFJ や主催者、他の委員メンバーの不利益となる情報は配信しない
- ◆ 会議中に SNS などて情報を配信しない
- ◆ 個人情報に関わるような内容や著作権に関わるような情報を発信しない

#### 5) 脳震盪への対応について

メディカル部会にて決定した脳震盪が疑われるライダーの競技会参加について、注意事項が報告された。

### 3. 2015 シーズンに向けた提案について (JEC プロモーション)

#### ■ ウィメンズクラスの指定ゼッケン

##### 決定

全日本ウィメンズクラスのゼッケンを年間指定制度とし、前年ランキングを反映させることとする。(JEC プロモーションで管理) 全日本ウィメンズ年間指定ゼッケン対象者が、他クラス(併催承認やナショナル等)に出場する場合は、出場クラスにて新たな番号が JEC プロモーションより与えられる。

#### ■ 難易度クラス分け

##### 要望(選手会)

- 危険なテストの設定は無くすようくれぐれもお願いする。
- 各大会におけるファイナルクロス(FC)の割合を見直してほしい(ED 本来の魅力を優先し、モトクロスの要素の高い FC の比重を軽くしてはどうか)。FC の比重を軽くした分を周回数増加などに充当してほしい。
- インターナショナル A クラス(IA)の走行ボリュームが不足している印象。
- 今年 9 月の日高 2DAYS では、全日本を 2 日間(土日)開催した後の翌月曜(祝日)も競技会を実施し、日高 3DAYS 競技会として開催する。全日本選手権ポイント対象は前 2 日間だが、ライダーの技量向上やニーズに応じて実施。選手会としては、他大会もぜひ参考にしてほしい。

#### ■ ピットクルー登録規則

##### 決定

選手権ポイントの対象となる全日本選手権シリーズ開催クラス(IA、IB、N、W)のピットクルー規制は義務とすべきであるが、併催承認クラスは、オンタイムエンデューロを楽しむことを主旨とする理由からも、義務化はしない方針とする。但し、会場管理上の都合や各大会ごとの主催者の考え方を尊重し、大会ごとの SR で対応を可能とすることが確認された。

#### ■ 承認クラスの開催継続要望

##### 要望

SUGO2DAYS 大会において承認クラスの併催を止め、公認クラスのみ開催するとの主催者の意向に対し、選手会から、普及促進の為に SUGO で承認クラスを継続してほしいと要望された。現状は要望に応え継続して併催するが、将来的には再度検討が必要と主催者は認識している。

#### ■ 2Days の表彰（タイム合計か？ポイント合計か？）の確認

##### 決定

現状 2DAYS で開催されているのが日高と SUGO の 2 大会であり、日高はタイム合計、SUGO はポイント合計で表彰していたが、2DAYS 大会の表彰において、2 日間トータルの成績における表彰対象者を選出する場合、2 日間のタイム合計の成績とするよう統一されることが決定した。

#### ■ 計測システムの統一化要望

##### 要望

トランスポンダーによる計時システムの導入は、正確・迅速で、かつライブリザルトによる観客やライダーへのデータ提供は非常にありがたく、全日本選手権シリーズ全戦において適用をお願いしたいと、選手会から要望された。

#### ■ アンケート

##### 意見

以前、JEC プロモーションでアンケートを実施した際、回収率が悪く、全日本よりむしろエリアやライツの参加者の意見を収集すべきであるとの意見もあり、選手の意見は、これまで通り、選手会と JEC プロモーションにて集約し、委員会へ提案する。

#### ■ 朝のワーキングタイムの設定は不要ではないか？

##### 決定

現状、朝(2DAYS の場合は初日)10 分間にワーキングタイムが設定されているが、特に必要なものではないとの意見が多い為、2015 全日本選手権では、朝のワーキングタイムを 5 分とし、各大会の SR で公示するよう統一する。

#### ■ プレフィニッシュの時間待ちは不要ではないか？

##### 意見

最終 LAP だけは、早着ペナルティを無くし、フィニッシュ待ちするライダーが発生しないようにすることが理想だが、競技の性質上主催者側で管理が難しい。従って、極力、主催者は適正なタイムを設定し、早着ライダーの発生防止につなげ、締まった大会となるよう努める。

#### ■ 難易度のバランスと、渋滞が発生しないテストの設定

##### 要望

各クラスとも、時間に余裕があっても通行することができないレイアウトが無いように配慮してほしい。また、地形的に、コースクリアできないライダーが多数発生し、コース上で立ち往生した場合、実力上位者が両側から追い抜くことが困難な状況とならない様に考慮をお願いしたい。(いかなる状況下においても、渋滞が発生しないことを想定してほしい)

### ■ タイムキーピング性の良さ

#### 意見

テスト、ルートが設定される前提で、テストよりルートが難しいとの考え方があってもよい。

### ■ IA クラスにスーパークラスを設定してはどうか？

#### 意見

IA クラスが現状、全日本トップクラスとなっているが、スーパークラスが設定されたことで IA クラスの価値が下がる可能性もある。トライアルやスノーモビルに設定されたスーパークラスは、セクション難易度ならびにコース設定が他クラスとは異なり、エンデューロでのスーパークラス設定は、他クラスとの差別化が見せにくい。現状の参加台数的にもクラス分けをする時期ではない。

### ■ 自動降格、IA ゼッケン

#### 意見

現状、IA クラスは登録制となっており、全日本設立当初から IA 登録されてきたライダーは、全員、指定ゼッケン登録者となっているが、実情では、既にライセンスを更新していないライダーも多く、IA 登録ライダーならびに年間指定ゼッケン対象者は、アクティブなライダーのみとすべきである。ゼッケンとともに JEC プロモーションで登録者を管理し、シーズン前に公示することが望ましい。

中・下級層のライダーは上級者を目指して競技に参加している状況であり、上級者を手本にもっとやる気にさせたい。

### ■ N クラス 2 クラス制

#### 意見

全日本ナショナルクラスに初めて参戦するライダーをもっと取り込むために、ナショナルクラスを A と B に分割させ、ナショナルクラスで出場経験のあるライダーと初めて参加するライダーがそれぞれ昇格を目指せる環境とすべき。

ライセンス区分でナショナル A、ナショナル B と区分けして管理することが理想であるが、システム上の都合で新たにライセンス区分を設定することが難しく、現状のクラスを技量別に分ける方法を検討して行かなければならない。

#### 継続審議

IA と IB の入れ替え案、IA クラスの登録方法（旧登録者でライセンス未更新者を対象から外す等）、ナショナルクラスの技量分けについては、JEC プロモーションと MFJ 事務局にて、まず草案を策定し、エンデューロ委員会にて草案を基に協議する。2016 年度から改訂の方向で協議を進めたい。

### ■ 年間表彰式

#### 継続審議

現状、エンデューロは全日本ランキング認定表彰式の対象クラスがインターナショナル A クラス 1 位~3 位のみとされているが、他種目は、国際 B 級やレディースクラスも対象となっており、エンデューロ部門の表彰対象クラスの拡大が要望された。

### ■ インターナショナル 6DAYS エンデューロトロフィー（日本代表）チーム

#### 継続検討

全日本選手権 IA1 位~6 位の選手を選出すべき、ランキング以外でも強い選手を選ぶべきなど選手や関係者の意見も様々である。エンデューロ委員会で選考委員会を設立し、毎年選手選考や監督の選任、スポンサー集めなどの方法を議論すべきとの提案が出された。方法を変更する場合、国内競技規則書の規定を改訂すべきとの意見が出され、次回委員会において、規則改訂案を審議することが決定した。

#### 4. 普及対策について（講習会テキストの製作、競技役員・講師等級等）

- MFJ エンデューロ委員を MFJ 本部推薦として MX1 級とすることを可能とすることが承認された。
- MFJ エンデューロ委員を MFJ 本部推薦として MX 講師 1 級とすることを可能とすることが承認された。
- 地区エンデューロ委員と所属する加盟団体事務局の推薦があれば、エンデューロ全日本やエリア選手権の各地区主要競技役員 of MX 競技役員等級を、2 級または必要に応じて 1 級に昇格させることができることが承認された。
- オンタイム普及対策ならびにライセンス講習会用教材が製作され、MFJ オンラインマガジンに掲載することが報告された。
- エンジョイ会員の申請料値下げ策を有効活用し、承認競技会などの開催を積極的に進めてほしいと要望された。

##### 報告①：いなベクロスワンテストの報告（中嶋中部エンデューロ部会長）

2015 年 5 月 24 日に中部地区で初めて、ED 西日本エリア選手権シリーズが開催されることが決定し、事前テストを兼ねた大会が 3 月 22 日にモータースポーツランドいなべ(三重県)で開催された。36 名が 3 クラスに分かれて出場し、モトクロス地方選手権と同時間開催として開催されたが、参加者にも大変好評だった。今後の課題として、地面の土質や山から慢性的に水が流れてくること、また IA でもハードな設定だった為、それ以外のクラスには厳しい設定であった。

##### 報告②：東日本エリア選手権シリーズ勝沼大会の報告（関東エンデューロ部会）

本格的なエンデューロ競技は初開催であったが、多くの参加者が集まり、150 張ほどのテントが設置できるほどの広さを持つパドックもあり、よい会場だった。IA ライダーが数人参加していたが、彼らがスタッフとして協力してくれればさらにレベルの高い競技会として来年以降も継続していけるのではないだろうか。参加者の多くが本格的なオンタイムエンデューロは初めてであり、オンタイム競技に参加したいとの意向を持っていたようだ。（オンタイム方式の普及活動の成果か？）

課題は、「渋滞対策の見直し」、「パルクフェルメからスタートに移動する際、途中に登り坂がある為エンジン始動させざるを得ない点」、「5 台一斉としたテストのスタート方法の見直し」、「パルクフェルメの外観をよりわかりやすいようにすること」であった。

#### 5. 2015 年度全日本選手権、審査委員長派遣計画について（報告）

第 1 戦 広島	<変更>	奥村委員(近畿)
第 2 戦 近畿	<変更>	石井委員(関東)
第 3 戦 日高		石井委員(関東)
第 4 戦 SUGO		藤田委員(九州)

以上、派遣計画の改訂案が承認された。

#### 6. 2016 年度主要競技会開催日程案について

北海道 : 日高 2days 大会として 9 月 17 日(土)、18 日(日)に予定したい。

東北 : SUGO 2days 大会は、例年通り、11 月 19 日(土)、20 日(日) ※第 3 週目に予定したい。

<問い合わせ>

昨年開催を検討していたチーズナッツパークでの大会について、最終戦で調整した際に開催条件の認識が異なっていた為、改めて 2016 年開催を検討するにあたり、条件が知りたいと東北 ED 部会から質問された。

※自動計測装置の在り方 → 正確なりザルトが出せる環境であれば、機械やメーカーにはこだわらない。

※JEC プロモーションの委託 → 金額設定ならびに業務内容を箇条書きにし、改めて各主催者へ提出する。

近畿 : 1day 大会で、プラザ阪下において、6 月 19 日または 6 月 26 日に予定したい。

中国 : 2015 年は 1 年休止するハズだったが、他地区での開催が困難となった為、急遽開催を受けた為、2016 年は、会場と運営スタッフの事情も考え、休止を検討している。

九州 : 2016 年は全日本の開催はしない。現在、九州エリアシリーズと、福岡・熊本県大会を開催しており、EJ(68 名)、IB(2 名)、ナショナル(17 名)が参戦している。この他に MXIA と EDIA の出場クラスも別途設定されている。

## 7. その他

ヘルメットカメラ装着規制について、スポンサー対応として規制が弊害となっていることや普及の妨げにもなりかねない等の意見が出された。また、FIM 規則で規制されているにも関わらず、世界選手権で使用している選手がいるとの事例も報告された。MFJ の見解としては、ライダー自身の身の安全を優先に競技用装備部会で製造メーカー担当者からも様々な意見を徴収した上で総合的に判断した結果、規制を決定しており、国内でカメラ装着に伴う大きな事故発生の報告が現在の所無かったとしても、今後発生する可能性が予見できる場合は、事故が発生する前に防止する姿勢であることが説明された。

以上